第7章　　申し送り事項

7. 申し送り事項

7.1.1. 与条件・各種設計条件の整理と確認

(1) 駐車場の割り当ての検討

本計画では、都市公園内行為許可基準の運用規定（平成 26 年 7 月）をもとに、駐車場の割り当てを整理した。今後、沖縄アリーナや、立体駐車場、P-PFI ホテル駐車場の利用状況に応じて、割り当てを検討すること。

(2) 地域防災計画の確認

本公園は、広域避難場所に設定されている。今後、防災課により地域防災計画の見直しが図られるため、園内計画とすり合わせを行うこと。各課へヒアリングする際は、計画図を提出すること。

(3) 他施設計画の確認

テニスコートの将来的な移設計画について観光スポーツ振興課と協議しつつ、本公園の整備を進めること。

アーバンスポーツパーク計画が現在進行中であるが、駐車場の利用については、P-PFI ホテルとの調整および確認を行うこと。

7.1.2. 空間構成・景観・意匠等に関する基本方針の検討と設定

(1) 大型バスおよびタクシーの乗り入れの検討

大型バスやタクシーの乗り入れについては、大会やイベントに応じて乗り場や台数を設定し、ソフト運用対策を図ること。

(2) 新設出入口の景観形成（デジタルサイネージ設置）の検討

本計画にて、新設出入口へ電気の引き込みを検討している。将来的にデジタルサイネージを設置するよう要望があった際、詳細に検討すること。

7.1.3. 施設の検討

(1) アスファルト舗装工

本業務では、令和 5 年度 コザ運動公園交差点接続等設計業務において算定した CBR 試験結果（区間 CBR=4.0）の値を用いてアスファルト舗装厚を検討した。実施設計の段階において、再度 CBR 試験の実施を検討すること。

(2) サイン施設工

実施設計の段階において、サインの詳細な盤面を検討すること。この際、コザ運動公園におけるサインマニュアルを作成できると良い。

また、中心市街地への案内を示す総合案内サインの内容については、経済文化部と調整すること。

(3) 地耐力

実施設計の段階において、地耐力調査を実施した上で、設置する施設の構造（基礎部）を検討すること。

7.1.4. 造成基本方針の検討と設定（雨水排水計画）

(1) 流量増加措置について

計画後の流量が増加する場合、何らかの対策を図る必要があるが、本計画においては、計画後の流量増加が微々たる数値であり、かつ流末にも余裕があるため、対策の必要性は要検討としている。

本公園では浸透系の措置が不可であるため、貯留施設の必要性やその他対策について、検討すること。

（2）　既設側溝の接続先の確認

既設側溝において、流末への接続先が不明な箇所について確認すること。



図 7.1　雨水排水経路図_A 駐車場周辺

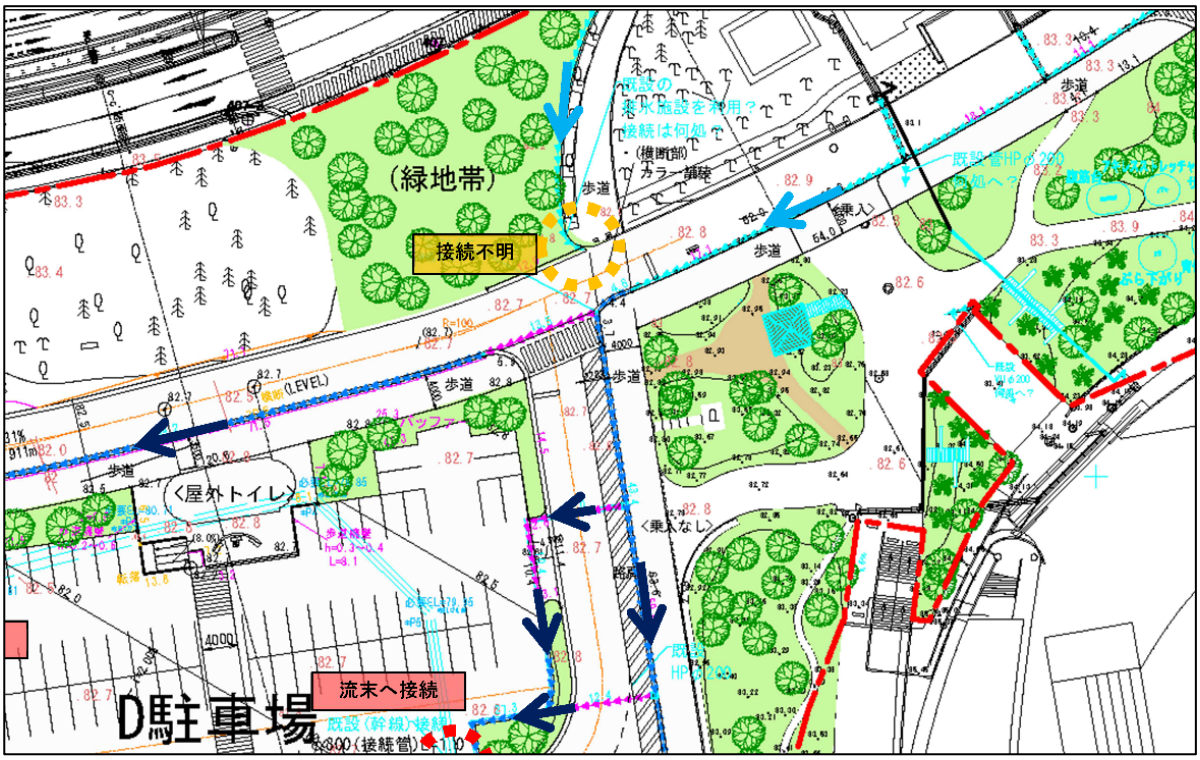


図 7.2　雨水排水経路図_D 駐車場周辺

(3)　汚水マンホールの嵩上げについて

本計画では、既存の雨水マンホールの嵩上げを検討している。

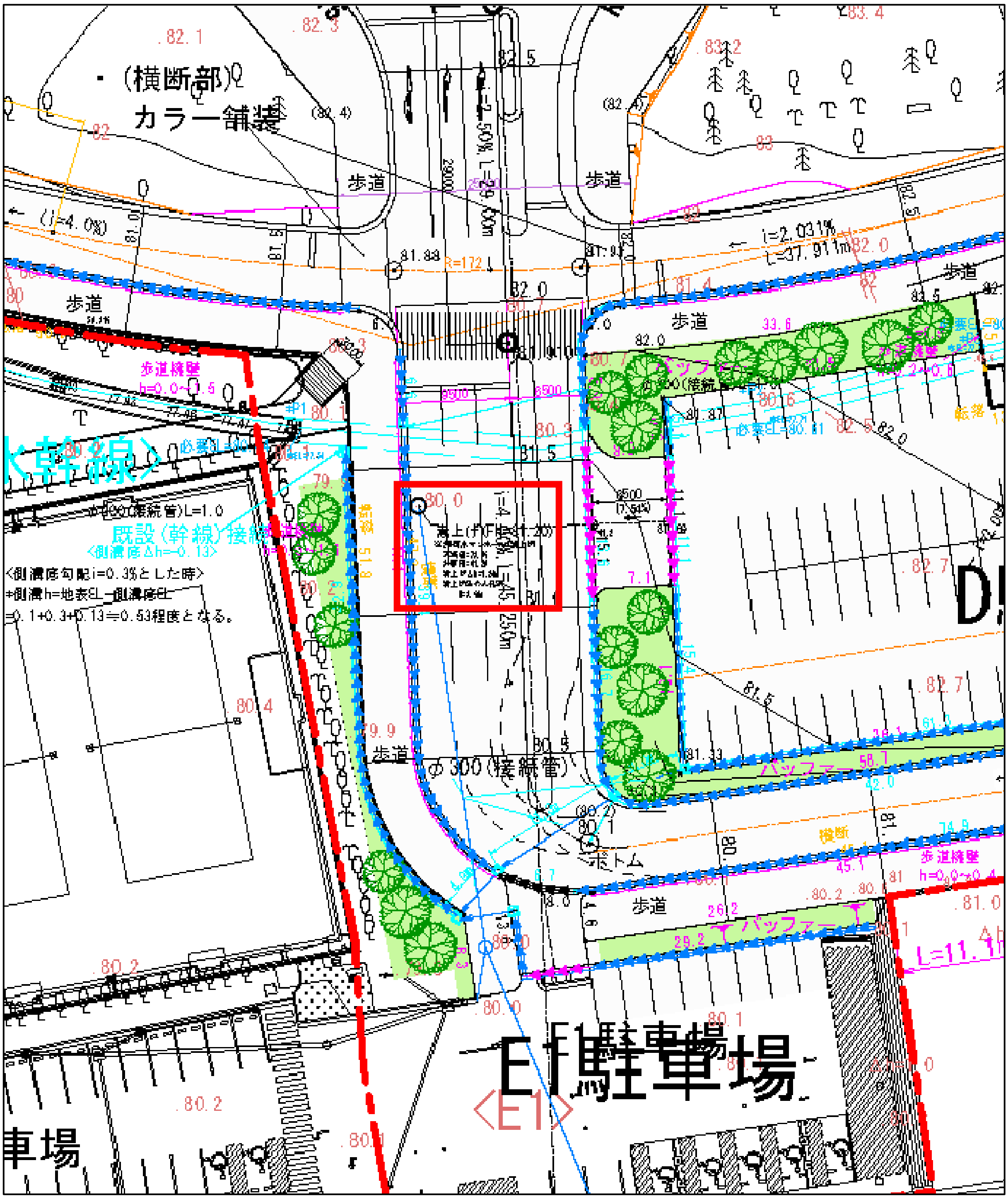


図 7.3　嵩上げが必要な箇所

同様に、汚水マンホールの嵩上げも必要となるが、汚水マンホールの深さが不明であるため、今後検討すること。

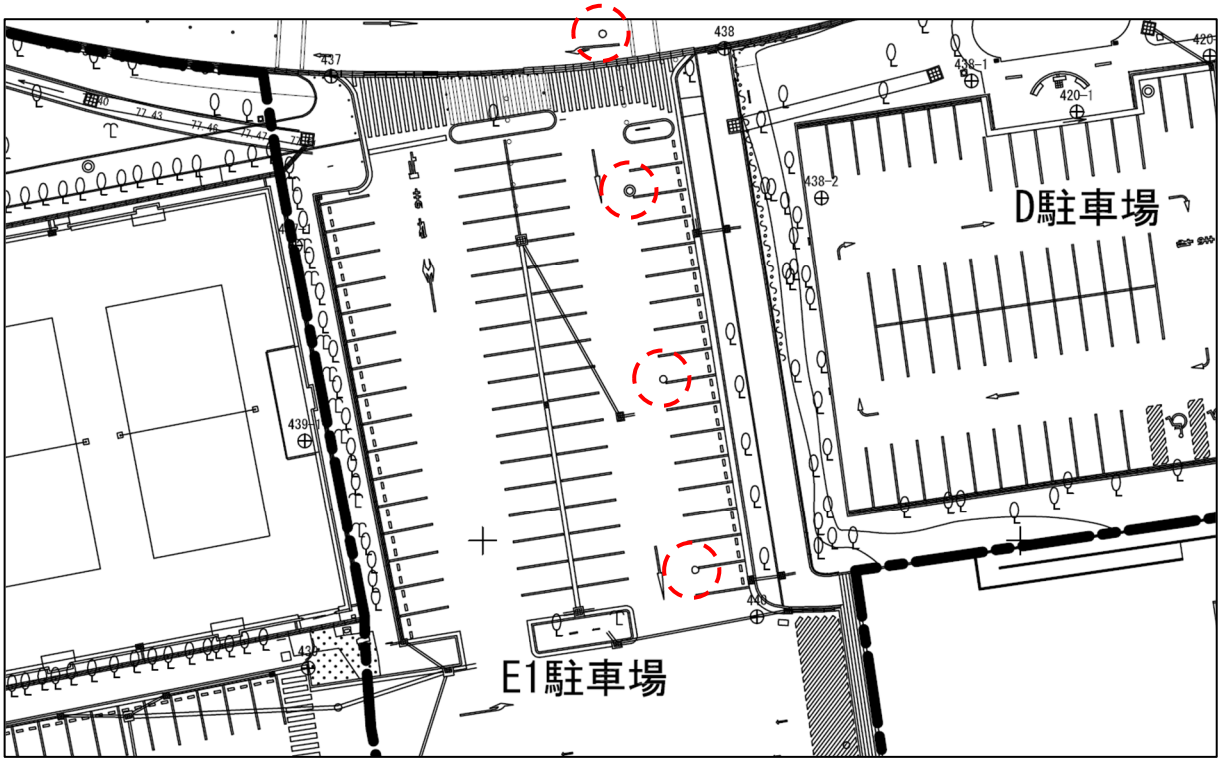


図 7.4　現況図（嵩上げが必要な汚水マンホール）

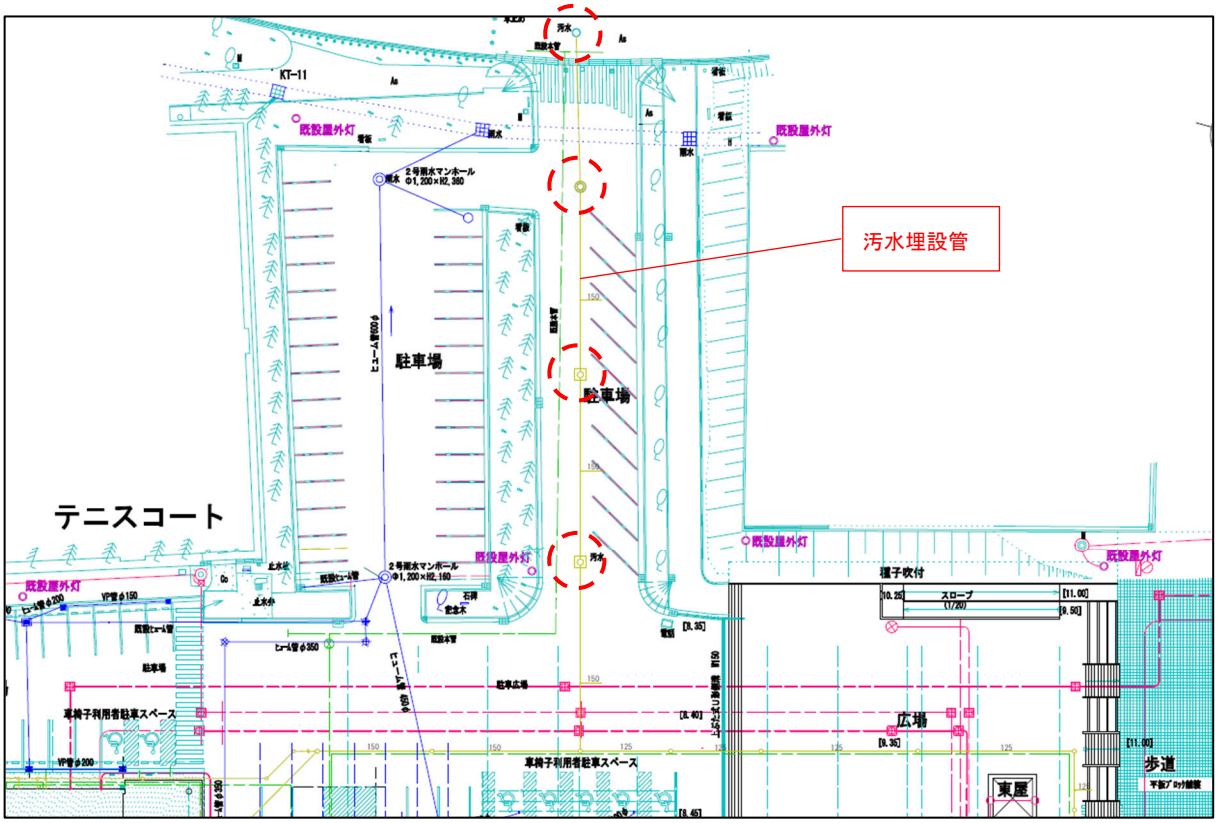


図 7.5　汚水管埋設図

7.1.5. 供給処理設備基本方針の検討と設定

(1) 照度分布調査について

現況の照明施設において、照度分布調査を実施すること。

(2) 埋設管調査について

電気設備および給排水設備において、詳細な埋設管調査を実施すること。